



# 全てのステークホルダーと共に成長する企業を目指して

塩野義製薬株式会社 代表取締役社長 手代木 功

このたびは「平成29年度（第23回）ディスクロージャー優良企業選定」におきまして、医薬品部門第1位にご選定いただき、誠に光栄に存じます。

当社は2018年3月に創業140周年を迎えますが、1957年に制定した基本方針「常に人々の健康を守るために必要な最もよい薬を提供する」に基づき、これまで抗生物質、高脂血症治療薬、抗HIV薬等の新薬を創製し、世界中の医療に貢献してきました。持続可能な世界の実現が重要視される中、企業も社会の一員としてその成長に貢献することが求められており、社会から必要とされなければ企業は持続的な成長ができないものと考えます。

2014年4月より、2020年度を目標とする中期経営計画に取り組んできた結果、開始当初の目標達成に目処がついたことから、2016年10月にさらに高みを目指した目標に上方修正するとともに、成長性・効率性・株主還元の3つのフレームワークで新たなKPIを設定し「創業型製薬企業として“社会とともに”成長し続ける」ことを新たなビジョンとして掲げました。当社の強みである低分子創薬を基軸として、より有効で安全な画期的新薬を世界中の患者様にお届けし、イノベーションと医療経済性の両立を実現することで社会から必要とされる企業であり続けることを目指しています。

経営を取り巻く環境は国内外で日々起こる事象に大きく影響され、そのスピードと相互連関は増

加の一途を辿っています。このような中で、経営者として企業価値を持続的に向上させていくには、多面的な切り口での情報収集と分析、適正な判断を不断に行っていく必要があります。株主や投資家の皆様との建設的な対話は、私にとって最大の資源の一つであり、私個人の業務の20%以上の時間をずっとそこに充ててきています。

毎年定期開催しているR&D説明会では研究開発の担当役員が投資家や証券アナリストの皆様と直接議論し、決算説明会では私自身を含む経営戦略の担当役員が財務情報に留まらずビジネスパートナーとの提携内容等の詳細な説明も行っています。また、投資家の皆様との直接対話ではESGに関する議論が益々重要となっており、セクター担当アナリストやファンドマネジャーに加え、ESG担当の皆様にもご同席いただき、当社の持続的な成長力に対する理解を深めて長期投資対象の企業と判断していただけるように努めています。

当社は株主・顧客・社会・従業員の4つのステークホルダーに対して常に「最適なバランス」を以て接し続けることが、企業価値を高める上で最も重要と考えています。その上で、株主の皆様は全てのステークホルダーを代表する存在であり、顧客の皆様、社会との共存、そして従業員の視点も含め、企業が進むべき道筋を前向きかつ厳しくご指導下さっているものと考えています。今後も皆様との対話を通じて企業価値の向上に努めて参りますので、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。